<H7-4-A：問題>

図4-1は、平板測量の標準的な作業工程を述べたものである。ア～オに入る作業工程名の組合せとして、最も適当なものを選べ。

作業計画 ア イ 細部測量 ウ エ オ 成果等の整理

	ア	イ	ウ	エ	オ
1. 基準点の設置	基準点の展開	編集	製図	点検	
2. 基準点の設置	基準点の展開	点検	製図	編集	
3. 基準点の展開	基準点の設置	点検	編集	製図	
4. 基準点の展開	基準点の設置	編集	点検	製図	
5. 基準点の展開	基準点の設置	製図	編集	点検	

<H7-4-B：問題>

整置された平板から適当な距離の地点に細糸で垂球を吊るし、アリダードの各視準孔より視準したところ、いずれも視準孔と細糸が一致した。これはアリダードのどのような条件について調べたものか。次の中から選べ。

- 1 . 水準器軸は、定規の底面に平行である。
- 2 . 視準面は、定規の底面に直交すること。
- 3 . 両視準板は、定規の底面に直交すること。
- 4 . 基準線は、定規の底面に平行であること。
- 5 . 基準線は、水準器軸に平行であること。

<H7-4-C：問題>

縮尺 1/1000 の地形図を作成するため、点Aに平板を設置し、点Bの測標をアリゲードで視準したとき、+5.0 分画を得た。また、点Bに平板を整置し、点Cの測標を視準したとき、+8.0 分画を得た。点Cから点Aの測標を視準したときの分画読定値はいくらか。次の中から選べ。ただし、点A、B、Cはこの順で同一直線上にあり、A B間の水平距離は50m、B C間の水平距離は25mとする。また観測には同一視準孔を使用し、器械高と測標高は等しいものとする。

- 1 . - 6.0
- 2 . - 6.5
- 3 . - 7.0
- 4 . - 12.0
- 5 . - 13.0

<H7-4-D：問題>

次の文は、GPSやトータルステーションを用いた地形測量について述べたものである。
間違っているものはどれか。

- 1．平板測量に必要な基準点はGPSを用いて設置することができる。
- 2．トータルステーションで地形・地物を測定する場合は、主に放射法が用いられる。
- 3．トータルステーションにより設置した基準点を用いて、縮尺1/100の地形図を平板測量で作成する場合は、外心誤差3cmのアリダードを使用することができる。
- 4．トータルステーションによる地形・地物の測定結果は、データコレクタに記録されるので、手書きによる記録を省略することができる。
- 5．トータルステーションによる地形・地物の測定結果は、コンピュータのディスプレイに表示することができる。